

高木智英社長



工具鋼販売で地歩を固めながら、いち早く航空機産業の勃興を見越し、鋼材供給をターゲット、高い先見性と国内外数百社に及ぶ協力企業との連携で、金型や自動車向けにも幅広い商材、サービスを提供し、モノづくり企業を縁の下から支えるタカギス・チル(本社から名古屋市中区、高木智英社長)が、創業70周年を迎えた。創業から今日まで、社ではある愛と誠の心を以て社会に貢献する「を大切に事業活動に、そして顧客の向く方向に寄り合い」「お客様のインストアシェアナンバーワン」を旨しつつ、事業環境の変化にも、しなやかに対応に次の手を打ち続ける高木社長に、来し方、行く末を聞いた。

——節目を迎えたと思
—— 添っていたので
—— できた先人のおかげ。
—— そしてお客さまにおい
—— めてご愛顧をお願い
—— います。
—— 「これまで来たの
—— ては、今までもも
—— は社員を支え、つない
—— だ、これからもずっと寄り

強み、企業文化の中核を洗ひ出す「人間力」に尽きた。今後も、何よりの「人」を天切にして事業活動をおこなっていく。

――社長の歩みは、

「私の入時は創業者である祖父を覚えていた方は少なかったが、必ず時候のあいさつには直接足を運ぶ人柄だった。聞いた。導

は、ロナショナル。先代、先代の行動理念を是にして營業畑でやってきた身に、客先仕入れ先に行き、皆との会議もままならない日々を過ごしかし、苦しいものだった。皆で耐えつとも、リミートの活用も、新たな営業ツールを取り入れた人事を尽くしてきた。入社から一番うれしかった。

ある。この軌道に乗るため、航空機事業部はグローバルな拡大を視野に、増員による大幅な強化を進めていく。プロテリアルの一才特約店という立場から海外材の調達力を高めることが中心で、米国、台湾を主眼としたメーカーから直接仕入れができただけの物量を目

品やホテル、ナットなどパーツ、部品の供給にも参画し、いはずはグローバルに協力会社と販売を手組、完成品の販売まで手がける体制を構築する考えだ。

「ダイエーと金型事業では従来、台湾の掘削し、金型を設計・製作し、鋳造を設計し、金型を売り込むという販促活動を行っている

たい。私は60周年時に社長就任。右も左も分からないスナードだったが、先の營爲やお客さまの思いに触れ奮起し、今、歴史的な先を歩めることに深く感謝している。70年を路まえ、全社員とイスカッションを重ね、この10年で実現してきた商材拡大、工場建設などの取り組みをやってきた。入社してすぐ経営者だった父は早くから海外を飛び回る営業マン。今、自身ができる限り現地にアウトというモットーの確立している。「世界を見る」と言うてきたその父は高校生の時に飛行機事故で亡くなった。早くに亡くなったが、2人分やという気持ちで学生時代をやってきた。入社したととコロナ禍でつと。重要な会議の開催を断念した折、幹部が私の悔しさを代弁してされた。こんな仲間とあれば、どんな壁も打ち破っていけると思うことができた。―― 今後の事業展望は、

「航空宇宙事業はコロナ禍開けからじわじわと回復している。防衛、得手する金属と、金類から製作が、田安環境もあり、上トゲを欠く。ダイヤ、力、スチールカーでは自社で鍛造する一方、部品として購入する、足もと台固しており、二社は、海外で鍛造までした部品を日本国内で販売するラティルの形成を進めている。当社が成で培ってきたスットワークを生かすことと、金類から製作で

タカギスチールの沿革

1950年	高木信次が日立製作所を退社し、名古屋中区宝町（現 第3丁目）で高級工具鋼販売を目的に開業
1955年	法人設立。株式会社高木商店に社名変更
1959年	中富営業所（名古屋市北区金城）を開設
1970年	豊橋営業所（豊橋市大岩町）を開設
1980年	名古屋市長から優良企業として表彰を受ける
1981年	株式会社タカギスチールに社名変更
1984年	名古屋市港区藤前に店舗移転。名古屋営業所と改称
1987年	高木育文が第2代社長に就任
1994年	育文急逝に伴い、信次が社長に復帰
1995年	資本金を5000万円に増資
1996年	高木愛子が第3代社長に就任
1997年	中小企業長官賞の表彰を受ける
1998年	本社・錦TKGビル竣工
2005年	豊橋営業所を現在地（豊橋市三弥町）に移転
2014年	高木智英が第4代社長に就任
2016年	瀬戸工場設立
2018年	航空機素材のサプライヤーとしてEN9120(A S 9120 と同様)の認証を取得
2021年	企業価値向上のため名古屋営業所、豊橋営業所、瀬戸 工場でISO9001、ISO14001の認証を取得
2022年	航空事業の拡大に向け、JIS S Q9100の認証を取得 (EN9120返上)

「私が社長になった頃、海外出張に行くのに持っていた二スを取ら、新しい二スを取り込む好機と捉え、ダイカスト事業の高度化、成熟を図る。主人先では韓国の铸造厂の開拓も同時進行しており、事業拡大のチャンスをつかっている状況だ」

—— 未来に描く会社像は。

「海外で社員と『じゃあ僕は台湾だから、君はアメリカだからね』って空港に行ってきますを交わすような仕事の仕方であればうれしう。社員もお客さまにも安心してもらえるように会社としながら、守るだけでなくもちろん味い、鋭い攻めも持ち味に。世界各國の企業を相手にする、より広く人材とつながる経営で世界の育成、事業の成長に力を注いでいきたい」(阿部 拓也)

[illegible]

日干酉葉新出 2.4.8

J F E エンジン 大型 O D A 案件

[illegible]

タカギスチール70周年

起集会で社員旅行

高木愛子会長(右)へのインタビュー風景。内容は周年特設ページに掲載



チールは、年2月から一部企画をスタートして新風を吹き込んでいます。プロジェクト開始の今

立木を伐採(ウリハタケ)などを経営していた。また、